

前枚方市議会議員 改革系無所属

特別配布版 第1号(通算129号)
平成28年10月発行

かじや知宏 ともひろ 市政報告

〈生年月日〉昭和43年9月12日 〈出身〉大阪府枚方市 〈趣味〉読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り、観劇 〈血液型〉O型
〈経歴〉阪保育所→殿山第二小→枚方三中→牧野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)→行政書士

〈自宅〉〒573-0171 枚方市北山1-23-57

電話 090-3705-9393

Eメール tomohiro@t-kajiya.com

かじや知宏のホームページ
<http://www.t-kajiya.com>



未来に希望の持てる枚方を 新しい政治・行政の仕組みをつくります

今、日本は時代の転換点にあります。人口減少・少子高齢化に伴う税収の減少や社会保障にかかる経費の増大など、国と地方自治体を取り巻く状況は、今後一層厳しくなっていくことが予想されます。枚方市でも人口減少社会に対応した効率的なまちづくりへの転換をどのように図っていくのが、大きな課題です。

今の市民サービスや社会保障制度は次の世代に負担を先送りすることで成り立っています。枚方市も毎年70億円ほどの赤字地方債を発行し、その累積残高は500億円を超え、今後も増加の一途をたどると予測されています。また、国と地方を合わせた借金が1000兆円を超える状況は皆さんもご存知のとおりです。

さらに枚方市の人口は30年後には2割減少し、高齢者の割合が35%になると予測されています。人口や税収が右肩上がりとなることを前提とした「高度経済成長時代」の政治・行政の仕組みは、すでに制度疲労を起し限界が見えてきています。今こそ、

人口減少社会に対応した新たな仕組みへの大きな転換が必要です。

人口減少・少子高齢化の時代においても、枚方市を未来に希望が持てる「持続的発展が可能」なまちにするためには、税収の減少、社会保障費の増大への早急な対応がカギとなります。

まず施策の「選択と集中」を徹底的に行うことにより、災害や犯罪に強い安心・安全なまちづくりや、教育・子育て支援の充実など現役世代への重点投資を図ることで、まちの魅力を向上させ、定住人口の確保・人口誘導を実現し、税収の安定を目指すことです。次に政治・行政のこれまでの仕組みや役割、税金の流れを見直すとともに、ムダを省くなどの行財政改革を徹底的に進め、効果的・効率的な市役所運営を行っていくことが必要です。

これまでの仕組みを変えることについては、多くの難題がありますが、明日の枚方のために、覚悟を決めて、改革と施策の実現に全力で取り組んでいきます。

政策の詳細はホームページをご覧ください

かじや知宏 ともひろ

で 検索



ブログのQRコード



tomohiro.kajiya



@kajiya_tomohiro

※フェイスブックとツイッターのアカウントを開設しています。

駅前報告を行っています

一人でも多くの市民の方に市政情報をお伝えしたいという想いから、午前6時20分頃～8時30分頃に駅前「市政報告」の配布を行っています。